平成２７年３月定例会採択

件　名	平成２７年陳情第１号 ２４万都市八戸市にふさわしい新美術館の建設を求める陳情
処　理　経　過　及　び　結　果	

○　八戸市美術館は、旧税務署の庁舎を用途変更し、昭和61年に県内初の博物館法に基づく美術館（登録博物館）として開館して以来、当市の文化芸術活動の振興に大きな役割を果たしてきました。

○　しかしながら、魅力的で自由度の高い芸術作品の鑑賞空間確保や施設の老朽化など課題が表面化しており、長年多くの市民の皆様から新しい美術館の整備が期待されてきたところです。

○　このため、新美術館の整備のあり方について模索してまいりましたが、国の補助制度を活用しての整備が可能となったことから、平成28年４月より、市に新美術館建設推進室を設置し、整備事業に着手しております。

○　建設予定地については、現在の美術館の敷地及び隣接する市有地に、青森銀行の土地を加えた協調開発区域内での配置を計画しております。

○　これまで、平成28年９月に新美術館整備の基本的な考え方を示す「八戸市新美術館整備基本構想」を策定したほか、公募型プロポーザルにより設計者を選定し、平成30年２月に基本設計を完了するなど、事業を進めてきております。

○　また、平成30年度は、新美術館の具体的な管理運営のあり方について検討を行い、「種を蒔き、人を育み、100年後の八戸を創造する美術館～出会いと学びのアートファーム～」をテーマに掲げる「八戸市新美術館管理運営基本計画」を策定するとともに、実施設計を完了しております。

○　今後は、新美術館のオープンに向けて準備を進めるとともに、多くの市民の皆様に新美術館に関心を持っていただけるよう、シンポジウムやプレ事業を開催するなど、着実に事業を進めてまいります。

○　なお、「八戸芸術パーク（仮称）整備構想」では、この施設は舞台芸術（音楽、演劇等）を中心に映像・アートなど様々な文化芸術活動を支援・促進するため、ホールやギャラリー、練習室等を備えた複合施設として整備する内容となっており、美術館の機能は含まれていないことを申し添えます。